

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～スティーブ・ジョブズって・・・知ってる？③～

あのスティーブ・ジョブズが不機嫌になった理由とは・・・

スティーブ・ジョブズは、取材中インタビュアーのもっていた iPod をみて、急に不機嫌になった。普通、インタビュアーが自分の開発した製品を持っていたら、ご機嫌になるのが普通です。

取材者は焦りました。

「何か間違ったことをしてしまったのか・・・」

実はジョブの不機嫌の理由は、インタビュアーが iPod にカバーを付けていたことが原因でした。

iPod の初期タイプは裏面がステンレスでピカピカです。

そのステンレス面に傷をつけないためにカバーをしていたのですが、それが気になったのです。

ジョブズはこう言いました。

「傷がつくの嫌がって、カバーをしている人がいるけど・・・
その傷こそが・・・
キミだけのものになった証じゃないか！
傷こそ美しいのに。」



「あなたの人生がつまらないと思うのなら、それはあなた自身がつまらなくしているんだぜ」
ひすい ことろう（ディスカバー・トゥエンティワン）

こんなふうに、モノも心も傷つくことがあります。

そんな時は・・・ジョブズのように・・・「傷こそ・・・美しい。」「傷は・・・自分らしさ」と解釈し、たとえ傷であっても、その傷を「ステキな未来をつくるきっかけ」に変えられれば、「希望」にすることができ、その傷を誇りに思うことだってできるんですね。

加藤諦三さん（日本の社会学者、早稲田大学名誉教授、ニッポン放送のラジオ番組『テレフォン人生相談』のパーソナリティ。著書多数）がこうおっしゃってます。

「事実は直接、人には影響を与えません。事実はその人の解釈を通じて・・・その人に影響を与えます。」と。

どういうことかいうと・・・それはね・・・うーん・・・どうしようかなあ・・・教えてほしい？では・・・特別に・・・人はね・・・次の流れの中で行動を起こします。

① 出来事(事実) ⇄ ② 解釈(意味づけ) ⇄ ③ 感情 ⇄ ④ 行動

「出来事（事実）」が人に影響を与えるのではなく、その出来事をどう「解釈」するかで、「感情」が変わり、「行動」が変わり、「世界」が変わるということです。（出来事（事実）は変えられませんよね。）
えっ!ということは・・・もう・・・君たちなら・・・そう!・・・分かりますよね!
あなたの・・・解釈・・・ひとつで世界はいくらでも素晴らしい場所に変えることができるのです。